

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期西和賀町まち・ひと・しごと創成推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県和賀郡西和賀町

3 地域再生計画の区域

岩手県和賀郡西和賀町の全域

4 地域再生計画の目標

西和賀町の人口は、1960年の19,364人（旧湯田町、旧沢内村の合計）をピークに減少しており、2020年の国勢調査の数値では5,137人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によれば、2040年には2,760人となる見込みであり、これは2020年比の約46.3%（2,377人）減です。また、2040年（令和22年）における年齢3区分別人口の推計をみると、年少人口（0～14歳）が5.2%、生産年齢人口（15～64歳）が36.8%であるのに対し、高齢人口（65歳以上）が58.0%に至るとされており、今後さらに人口減少と超高齢化が進むと予測されています。自然動態をみると、進学・就職等による若年層の流出が近年の出生数の減少傾向に繋がっていると考えられ、1985年には出生数106人であったが2024年には5人まで減少しています。一方で、死亡数は長期間100人前後で推移していることもあり、自然減の状態が続き、2024年には136人の自然減となっています。

社会動態をみると、1981年以降現在に至るまで、転出数が転入数を上回っている社会減の状態が続いており、2024年は50人の社会減となっています。今後もこの状態が続くと、地域経済の衰退や担い手不足、地域コミュニティの機能低下が懸念され、町財政にも大きな影響が及ぼされ、ひいてはまち全体の消滅も危ぶまれます。

西和賀町は、このまま人口減少が進めば、自治体としての機能を維持すること

が困難な状況に陥る“消滅可能性都市”といわれていますが、“どこにもない四季”と形容する豊かな自然や、この地で育まれてきた独特の伝統文化、そこに暮らす人々の生き様は後世に伝えていかなければならないものです。

そのため、一緒にこの町を守り伝えるとともに、町に変革をもたらしてくれる新たな“町民”を増やすことが重要であり、移住・定住人口の増加と、町と関わる交流人口の拡大に重点を置いた取り組みを進めていくこととします。

また、移住・定住人口、交流人口を増やし、西和賀町人口ビジョンに掲げる2040年の人口目標3,029人を達成するためには、さらに魅力ある地域づくりが必要であり、保健医療福祉、教育、生活基盤、生活環境などの各種施策の充実も求められるところです。そのため、西和賀町総合計画を着実に実行し、必要に応じて見直しをすることにより総合的なまちづくりを推進します。具体的な事業は、以下の基本目標のもとで行います。

- ・基本目標1 地域資源を活用したにぎわい創出と多様で魅力ある産業の振興
- ・基本目標2 地域への誇りを育み未来を拓く人材育成
- ・基本目標3 いきいきと健康な暮らしを支える保健医療福祉の推進
- ・基本目標4 安全で快適な住みよい環境と安心な暮らしづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域計画における白地面積の割合	27.1%	25.0%	基本目標1
ア	西わらび優良系統ポット苗定植面積	55ha	55ha	基本目標1
ア	花き販売額	24,000万円	25,000万円	基本目標1
ア	飼料作物の生産面積	261.5ha	265.0ha	基本目標1
ア	森林経営計画の策定件数	3件	6件	基本目標1
ア	民有林の素材生産量	10,000m ³	20,000m ³	基本目標1

ア	燃料チップの生産量	1,000トン	10,000トン	基本目標1
ア	新規誘致事業所数	—	1事業所	基本目標1
ア	起業(創業)事業所数(累計)	15事業所	20事業所	基本目標1
ア	町内事業所数	351事業所	351事業所	基本目標1
ア	観光客入込数	340,202人	395,000人	基本目標1
ア	観光客宿泊数	32,009人	32,000人	基本目標1
ア	地域おこし協力隊終了後の地元定着率	66.7%	70.0%	基本目標1
ア	若年者の町内就職後3年後の定着率	80.0%	80.0%	基本目標1
イ	中学卒業時の英語検定3級取得者の割合	33.3%	60.0%	基本目標2
イ	岩手県学習定着度状況調査において「自分の住む地域には、良いところがあると思う(「どちらかといえば」を含まない積極回答)」と答えた児童生徒の割合	小学校5年生 95% 中学校2年生 71%	小学校5年生 95% 中学校2年生 75%	基本目標2
イ	全国学力・学習状況調査において「人が困っているときは、進んで助けている(「どちらかといえば」を含まない積極回答)」と答えた児童生徒の割合	小学校6年生 47.1% 中学校3年生 46.7%	小学校6年生 50.0% 中学校3年生 50.0%	基本目標2
イ	生涯学習講座の年間登録者数	54人	54人	基本目標2
イ	出前講座受講団体	22団体	22団体	基本目標2

イ	いわて男女共同参画サポーター認定数	12人	22人	基本目標 2
イ	図書ボランティア数	—	3人	基本目標 2
イ	文化財啓蒙活動（民俗芸能公演・文化財関係講座等）	年 1 回	年 2 回	基本目標 2
イ	文化芸術自主事業	年 9 回	年 9 回	基本目標 2
イ	出前講座のスポーツ教室	年12回	年12回	基本目標 2
イ	西和賀町スポーツ振興計画の策定	未策定	策定	基本目標 2
イ	スポーツ施設への冷房設備の導入	—	3施設	基本目標 2
ウ	特定健診受診率（法定報告値）	52.3%	60.0%	基本目標 3
ウ	喫煙と健康に関する知識をもっている人の割合	95.9%	100%	基本目標 3
ウ	適正体重を維持している人の割合	62.1%	73.0%	基本目標 3
ウ	健幸ポイント50ポイント達成者	14人	増加	基本目標 3
ウ	運動習慣がある（1日30分以上かつ週2日以上実施）KDB	20.2%	50.0%	基本目標 3
ウ	ゲートキーパー養成講座開催数	年 1 回	延べ10回 (年 1 回以上)	基本目標 3
ウ	医療介護連携に係る研修会等（開催回数）	4回	4回	基本目標 3
ウ	集いの場づくり（地区集会所を利用したサロン実	24地区	25地区	基本目標 3

	施地区数)			
ウ	生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、集落支援員等の連携会議（開催回数）	0回	2回	基本目標3
ウ	子育て支援センター年間延利用者数	—	1,000人	基本目標3
ウ	人口1,000人当たり出生率	1.5	2.5	基本目標3
ウ	保育園留学年間延利用世帯数	—	10世帯	基本目標3
ウ	年間救急車応需率	86%	90%	基本目標3
ウ	院内満足度調査における評価・満足の割合	(入院) 93% (外来) 65%	(入院) 95% (外来) 70%	基本目標3
ウ	医業収支比率	59.5%	70.0%	基本目標3
エ	地域づくり計画の策定	1地域	7地域	基本目標4
エ	町の関係人口（情報誌発送者数）	2,964人	4,000人	基本目標4
エ	修繕済み橋りょう数（町道）	39橋	58橋	基本目標4
エ	舗装改良率	13.7%	29.9%	基本目標4
エ	町内路線平均乗車密度	4.6人 (3路線平均)	6.0人 (3路線平均)	基本目標4
エ	景観形成基本方針の策定	未策定	策定	基本目標4
エ	長寿命化計画による公営住宅の改修戸数（累計）	62戸	122戸	基本目標4
エ	管理不全空き家	46戸	39戸	基本目標4
エ	管路耐震化率（水道事業）	18.4%	23.1%	基本目標4
エ	有収率（水道事業）	60.4%	62.4%	基本目標4

エ	水洗化普及率（下水道事業）	83.9%	85.0%	基本目標 4
エ	改築設備数（下水道事業）	—	82点	基本目標 4
エ	民間委託除雪延長（歩道含む）	64.8km	77.0km	基本目標 4
エ	除雪機械の更新（令和7年度～12年度）	—	11台	基本目標 4
エ	消防団協力事業所の認定数	2事業所	5事業所	基本目標 4
エ	機能別消防団員数	34人	40人	基本目標 4
エ	地域防災訓練への消防団参加率	85.7%	100%	基本目標 4
エ	防災士資格取得人数	15人	21人	基本目標 4
エ	一人1日当たりごみ排出量（生活系）	442 g	415 g	基本目標 4
エ	資源ごみの割合	16.3%	17.2%	基本目標 4
エ	交通事故発生件数（人身事故＋物損事故）	118件	90件以下	基本目標 4
エ	告知放送端末加入率	83.2%	90.0%	基本目標 4
エ	ホームページアクセス数	1,307件/日	1,467件/日	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期西和賀町まち・ひと・しごと創成推進事業

- ア 地域資源を活用したにぎわい創出と多様で魅力ある産業の振興事業
- イ 地域への誇りを育み未来を拓く人材育成事業
- ウ いきいきと健康な暮らしを支える保健医療福祉の推進事業
- エ 安全で快適な住みよい環境と安心な暮らしづくり事業

② 事業の内容

ア 地域資源を活用したにぎわい創出と多様で魅力ある産業の振興事業

基幹産業である農業の担い手育成や特産品のブランド化・6次産業化を推進する。また、複合拠点施設（道の駅）を核とした観光誘客や、企業誘致・起業支援、地域おこし協力隊の活用により、多様な雇用の創出と地域経済の活性化を図る。

【具体的な事業】

- ・地域ブランド推進事業
- ・産業間連携推進事業、創業支援事業
- ・川をいかしたまちづくり事業 等

イ 地域への誇りを育み未来を拓く人材育成事業

ICT活用や地域と協働した学校教育、西和賀高校の魅力化支援により、地域への誇り（シビックプライド）を持つ人材を育成する。あわせて、文化財・郷土芸能の保存継承や生涯スポーツの振興に取り組み、心豊かで活力ある地域社会を築く。

【具体的な事業】

- ・西和賀高校魅力化支援事業
- ・地域スポーツ活動体制整備事業
- ・地域ぐるみの学校安全体制推進事業 等

ウ いきいきと健康な暮らしを支える保健医療福祉の推進事業

健康寿命の延伸と、高齢者福祉や相談支援体制の充実による地域包括ケアシステムの深化を図る。また、結婚・出産・子育ての切れ目ない支援や医療費助成等の少子化対策を講じるとともに、地域医療体制の維持・確保により安心な暮らしを支える。

【具体的な事業】

- ・健康づくり事業
- ・子育て支援センター運営事業
- ・保健センター建設事業 等

エ 安全で快適な住みよい環境と安心な暮らしづくり事業

豪雪地帯等の特性に対応した持続可能な除雪体制や防災体制、道路・上下水道等のインフラを維持・確保する。また、地域公共交通の維持や空き家対策、集落支援によるコミュニティ活性化に取り組み、安全で快適な居住環境を整える。

【具体的な事業】

- ・豪雪地帯安全確保事業、道路維持管理事業
- ・地方交通路戦対策事業
- ・移住・定住推進事業 等

※なお、詳細は第3次西和賀町総合計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

450,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月頃に外部有識者等による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに西和賀町公式HP上に公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで